



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和58年10月1日現在)

人口 21,589 (+1)

男 10,651 (+6)

女 10,938 (-5)

世帯数 6,448 (+4)

—人のうごき(9月中)—

転入 65人 転出 78人

出生 28人 死亡 14人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



ほくたち便利な発明したよ!

十勝発明工夫展で、札内南小学校の鳥海正行君(5年)、小笠原史幸君(6年)、渡辺文章君(5年)、高岸秀行君(6年)の(左から)4人が特別賞を受賞し、同校には最優秀学校賞が贈られました。

58年 **11**

No.382

みんなであつくる町を原点に

町づくり見学会に百余人

秋晴れの好天に恵まれた、昭和58年度の町づくり見学会が、10月14日から16日の3日間行われ、合わせて110人が参加し、町づくりの現状を見学しました。

この見学会は、56年から実施しているもので、町民の皆さんに町の姿を直接目で見、肌で感じていただき、町づくりをより深く理解していただくというものです。農業者トレーニングセンターなど7カ所を見学したあと、林町長、菅原助役を囲んで座談会も行われました。

見学箇所を中心にお知らせしますので、参加できなかった皆さんも、町づくりについて考えてみませんか。

〈生きる喜びを創造するマチ〉をめざして、町では町民生活のあらゆる分野にわたって町政を推進しています。

同じ町に住みながら、自分たちが生活している地域から一歩外へ出ると、分らないことがたくさんあります。

まちの姿を町民の皆さんが直接目で見て、肌で感じ、自分たちのふるさとを再認識することにより町政に対する理解を深め、まちづくりについての意見、要望などをお聞かせいただいで、町政に反映

させることを目的として「町づくり見学会」を行っています。

見学会には、男性二十人、女性

九十人の百十人が参加し、午前九時に役場前を出発。完成したばかりの農業者トレーニングセンター

↓明野ヶ丘公園↓町営牧場↓浄水場↓えぞ文化考古館↓豊岡ゴミ埋立地↓老人福祉センターの順に見学しました。

参加者の中には、まちの施設とはいえ初めて訪れる場所も多く、どの人も熱心に説明を聞いていました。『農業者トレーニングセン

』では、備え付けられたばかりのトレーニング器具を楽しそうに試し利用。『明野ヶ丘公園』では、展望広場から幕別市街などを一望。『町営牧場』では、牛とのふれあいと広大な草地に感心したり驚いたり。

安心して飲めるおいしい水は、『浄水場』から。刀、矢筒、丸木舟などの展示品を見てアイヌ文化に触れた『えぞ文化考古館』。燃える生ゴミが不法に投棄されている『豊岡ゴミ埋立地』。老人の憩いの場『老人福祉センター』など十二時三十分までの施設見学で、それぞれの施設の機能、利用について深い理解をしていただきました。

昼食のあと、午後からは林町長、菅原助役を囲んでの座談会に移り、下水道の受益者負担、幕別駅の民間委託問題などについて、ざっくばらんに意見を交換しました。

農業者トレセン

錦町九八

町民の体力、健康づくりをねらいとして昭和五十七年八月に着工。今年九月に完成しました。総事業

は約四億五百万円で、アリーナは、バレー、テニス、バドミントン、バスケットができるほか、二階はトレーニング室があります。

個人の使用は無料で、団体で使用する場合は使用七日前まで申し込んでください。必ずず運動靴を履いてご利用ください。

◇トレセン ☎五四二二〇六

明野ヶ丘公園

明野

「諏訪山」が町民の広場として生まれ変わろうとしています。町開基八十年記念事業として、昭和五十二年から十カ年計画でスター



幕別にも、こんなすばらしいところがあったんですね

トし、総事業費約五億二千万円を要します。昭和五十三年から本年度まで約三億円を掛けて、ミニアスレチック、便所、給水施設、野外ステージ、展望広場などが完成しています。冬にはスキー場も使用できます。家族連れの行楽、公区

まちづくり

見て聞いて…



中村治子さん 寿町88 (43歳)

小春日和の好天に恵まれた、町づくり見学会に参加して、意義ある一日を過ごしました。午前九時十五分、完成したばかりのトレセンを最初に七カ所を見学しましたが、その中の一つ、明野ヶ丘公園の展望広場に立ち市街を一望したとき、大変すがすがしさを感じました。

赤、青、緑の屋根、そして一段と大きな役場庁舎、幕別の発展を強く肌を感じられました。芝桜も来年は私たちの目を楽しませてくれることでしょう。どんな施設でも利用して始めて作った価値があり誇りとなるのではないのでしょうか。多くのかたの参加を勧めます。



松浦 儀さん 緑町5 (62歳)

他町村を転々と勤務して、何十年ぶりに本町へ帰って来たので、早く幕別の町民になりきろうと、見学会に参加しました。紅葉の進む町内を巡り、七カ所の施設を見学しましたが、八十七年の歴史をつづけた先人の業績や、それを引継

の行事などで利用してみてください。

町営育成牧場

南勢

酪農振興対策として農業構造改善事業により、昭和四十二年度に造成されました。牧場では、四つの事業を行っています。酪農家から預託される乳牛、肉牛を夏期放牧、生後七日から百八十日まで乳用雌



私もこれでシェイプ・アップしようかしら？(トレンセンで)

浄水場

別

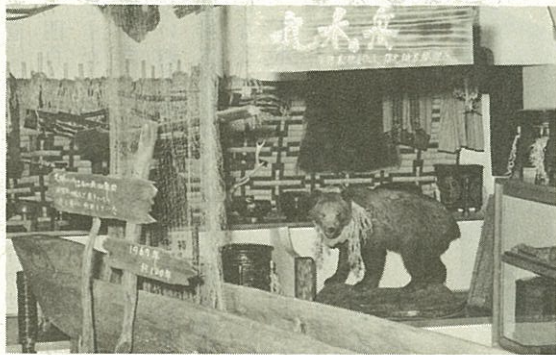
町の上水道は、給水戸数の増加

子牛を保育。優良乳用牛を購入、育成し初妊牛として、出産二カ月前位で農家へ譲渡、また繁殖用肉牛から生まれる仔牛を農家へ譲渡など、畜産振興の基盤の確立を図り、農業経営の安定に寄与しています。

と需要水量の増大によって昭和四十八年から広域化を図り、給水人口二万人、一日最大給水量六千立方メートルの規模で着工し、昭和五十年幕別市街、札内地区へ給水を開始。現在(昭和五十七年度末)一万四千四百人の給水人口を有しています。総事業費は、十一億二千六百万円(水道本管布設含む)となっていますが、水道普及率は七七%で、二三%が井戸などを利用しています。

えぞ文化考古館

千住二一四



貴重なアイヌ民俗文化財

アイヌ文化保存のため、故吉田菊太郎氏が古俗品、宝物類を収集して、昭和三十四年十一月に建設されました。吉田氏の死去により、町へ無償寄与され、昭和四十二年二月町移管され、教育委員会が管理、運営をしています。アイヌ民俗資料、

写真類などが三百五十点展示されています。見学科は無料で、一日五時から十二月三十日まで、毎日午前九時から午後五時まで開館しています。

豊岡ゴミ埋立地

豊岡

一般家庭から出される燃えないゴミや大型ゴミ、産業用廃棄物を埋立て処理するところとして、昭和五十年に設置されました。町の年間ゴミ集収量は一万トで、燃えるゴミが二千八百ト、燃えないゴミが七千二百トとなっており、八百万円の町費を使っています。また、ここに燃える生ゴミが不法投棄され、カラスによる地域住民への被害が出ています。ルールを守ってゴミ処理をしてください。

老人福祉センター

依田二二八

老人のレクリエーション活動、教養の向上、老人クラブ運動の向上など健康と福祉を目的として、昭和五十七年四月にオープンしました。センターの使用料は無料で、原則として六十五歳以上のかたが、日曜日、祝日を除いて利用することができます。施設には、温泉を利用した浴室、肩こりなどに効果のあるヘルストロンなどが備えられています。町では、六つの地区に分け、月二回ずつセンターまで、老人福祉バスを運行しています。

いだ現町民がさらに町づくりに熱意を燃している実態を見て、一日でも早く、一歩でも深くその流れに入りたいたいものと考えさせられました。町づくりは、一人ひとりの町民が、「本当の町民になりきる」と感じたいと思います。そのためには町を良くすることも大きな課題と思いい、今回の催しに強い賛意を表します。



大野トキ子さん 札内文京町29(53歳)

紅葉が見られる秋晴れに、ピクニックに行くような気持で家族と見学会に参加させていただきました。浄水場では、その仕組と水源について理解し、金魚を飼うなど水質管理に細心の苦勞をしている裏方の心を知り、水を大切にしたいと思えました。豊岡ゴミ埋立地は、想像以上に深い谷間でした。ゴミの区別をきちんとする協力があれば、カラスの害もなくなることを知りました。それぞれの施設については町の広報紙で知っている程度でしたが、住民参加の町づくりの姿勢を知り、自分の学習の機会を与えてくださりありがとうございます。



辻本栄一さん 札内中央町532(60歳)

明治三十年から数えて、今年で幕

(次のページに続く)

マチづくりへの 声・声・声

町長、助役を囲んでの座談会

ために改造資金貸付をします。限度額は四十四万円、月一万円で四十四回の償還となり無利子です。
◆下水道の受益者負担金というのは？ また下水道使用料はいくらになるのですか？

受益者負担金は、下水道のない地域の人の不公平をなくすために払うお金です。下水道によってトイレが水洗化され、快適な生活が



下水道・一番気になる
お金の話…

◆下水道が来年の春から供用開始ですが、水洗トイレにする義務はあるのか、改造するときの費用はどのくらいでしょうか？

下水道が利用できるという公示があった地域では、公示の日から一年以内に排水設備(風呂、台所)を、三年以内にくみ取り式便所から水洗トイレに改造しなければなりません。

排水設備、水洗トイレの改造費用は、約四十四万円程度ですが、町では、一度に支払いが困難なかの

に各年を四期に分けて納入していただきます。

下水道使用料ですが、上水道を使っている場合は上水道使用量がそのまま下水量になり、十立方(十ト)まで九百十円です。一カ月の水道料が千五百円の家庭ですと、下水道使用料九百十円を合わせて二千四百十円を納入することになります。

◆排水施設はどこまでが個人負担になるのですか？
下水道の幹線、枝線、そして公共マスは町の負担で設置しますが公共マスから宅地内の排水設備(排水管、私設マス、水洗トイレなど)が個人負担となります。

マチのイメージダウン
幕別駅の民間委託…

◆幕別駅が昭和五十九年に民間委託されると聞きましたが…



釧路鉄道管理局が、明年十月一日をメドに、幕別と芽室を民間委託すると発表しました。この案が実施されますと、現在十二名の職員が配置転換され、住民サービスは低下し、マチのイメージダウンにもなりますので、強い不満を感じています。

住民世論をバックにして、強力な反対運動を進めたいと考えています。

札内地区の
工業団地造成は…

◆札内地区には、住宅地などに散在する企業、工場がありますが、工業団地造成の計画がありますか？
稲志別工業団地を計画しており、現在、実現に向けて努力しているところであります。

冬のゲートボールは
どこで…

◆老人のスポーツとして、ゲートボールの普及は目覚ましいものがありますが、冬期間は利用する場所がありません。トレセンは使用できるのですか？

冬期間でも利用できる施設として、ピニールハウスなどの検討をしています。トレセンでの利用については、教育委員会と相談するようになります。

このほかにも多くの意見質問がありました。紙面の関係で、その一部を掲載させてもらいました。

別町が開基八十七年になり、管内では人口が第二位の町であり、日々発展をしている。本町は、猿別川が流れる豊かな田園の街で、教育文化、商工、農業、畜産などの施設が充実し、限りなく前進している様子が、町づくり見学会でよく理解できました。明野ヶ丘公園からの展望が一番印象的でした。

午後からの座談会には、町理事者を囲んで「生きる喜びを創造するマチ」について、活発に意見を交換しましたが、町づくりについての考え方が理解できたようです。来年も参加したく思います。



三好和代さん
錦町121 (42歳)

昨年に引き続き今年も見学会に参加しましたが、いま自分たちが住んでいる町がいろいろな施設を建設、整備していることが分りました。特に豊岡ゴミ埋立地では、あの深い沢の中にたくさんさんのゴミがあり、家庭などから出るゴミの量にびっくりしました。明野ヶ丘公園では、町民のみんなが植栽した芝桜を見てたいへん感心しました。今年も、新しい施設としてトレーニングセンターが建設され、私も体力づくりに利用したいと思えます。安心して生活できる町づくりを、私たち自身も考えることが必要だと、この見学会で感じました。

第6回まくべつ産業まつり

思い思いの秋 まるかじり

「秋の一日を存分に楽しもう」と、第六回まくべつ産業まつりが十月二日、依田公園一帯で開かれました。この日は朝から絶好の日和になり、秋の味覚と多彩なアトラクションを満喫しようという家族連れなどで大にぎわいでした。今年のみつりで特に人気を集めたのは、主婦を対象にした「野菜釣り大会」。釣った野菜は無料とあって、主婦たちはハッスルしていました。また、味覚のコーナーのジャガイモの試食、コイ料理の実演即売などには行列ができるほどでした。



大きい針なのに、どうしてひっかからないのかしら？（野菜釣り大会）

（野菜釣り大会） 帯広から町内の老人クラブの仲間と、昨日温泉に泊って初めて来たんです。毎年、各町や村で行う秋まつりを見てるんです。釣った野菜袋がラッキー賞でしたので、こんなにたくさん野菜をもらいました。どうやって帰ろうか。（ハンマーゴング） これをするのを楽しみに来たの。ちよっと力自慢をしたくて。

こんな話



全身の力を込めて、エーイッ！（ハンマーゴング）



コイ君、逃げないでくれ～



いらっしゃい。奥さん、きょうは特別価格だよ！

圧倒的強さで優勝したどさんこファミリーチーム



売店は人の波で飛ぶような売れゆき



青空の下での昼食は格別ですネ

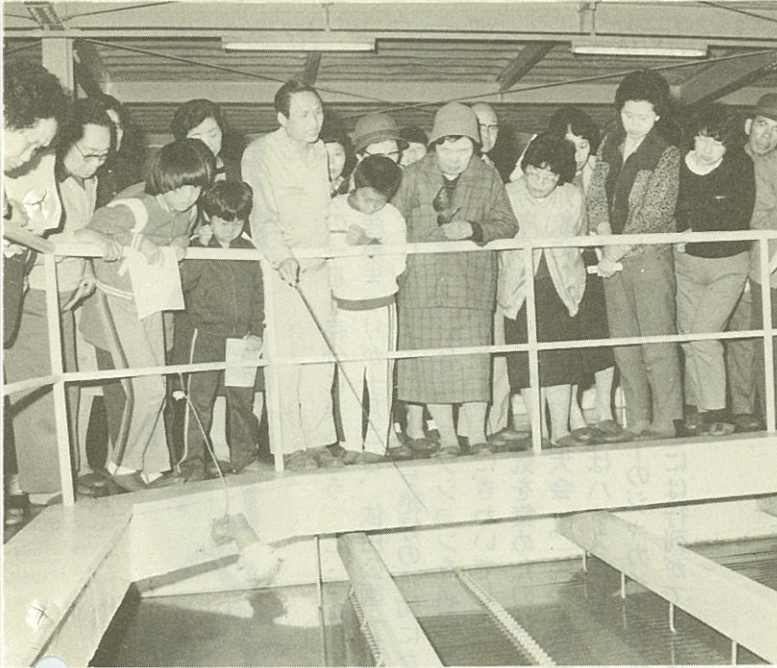
（コイのかみどり） 毎年つかみどりに参加してるよ。昨年は二匹つかんだ。おもしろいよ。もっとコイが大きいといいんだけどなあ。毎年やってほしい。（バーベキューコーナー） 町内からです。食べるだけのまつりでなく、アトラクションなどの催しがあるので楽しみます。しかし、もうすこし目玉になるものがあれば。

こんな話

水道事業会計はいま……

揺れる独立採算制

水道事業会計は過去五年間、平均6千7百65万円の補助を、町の一般会計から繰り入れられて経営してきました。五十七年度決算においても、実質赤字のところを、一般会計の補助5千4百62万7千円により、若干の黒字となっておりますが、独立採算制の原則から、普及率の向上や料金体系の見直しを余儀なくされています。



おいしい水はここから生まれるの……(町づくり見学会にて)

会計状況 (57年度決算)

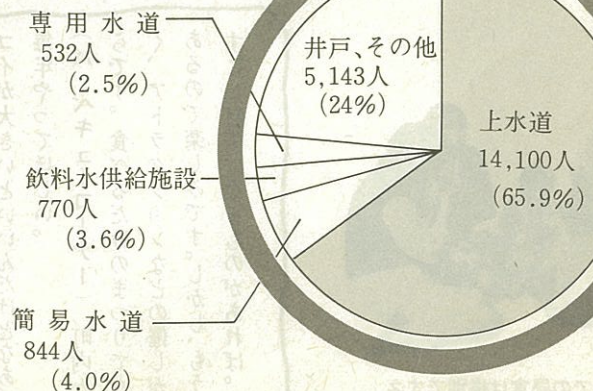
収入		33,167千円 (14.7%)		加入負担金 5,172千円 (2.3%)		雑収入 1,009千円 (0.5%)		予算額 227,403千円	
水道使用料 131,145千円 (58.3%)		受託 工事		一般会計 補助金 54,627千円 (24.2%)				収入 225,120千円	
支出		支払利息 79,308千円 (36.2%)		人件費 36,412千円 (16.6%)		受託 工事費 34,285千円 (15.7%)		減価 償却費 32,851千円 (15.0%)	
						動力費		支出 219,030千円	
								収入支出差引額 6,090千円	
								薬品費 471千円 (0.2%)	
								修繕費 5,494千円 (2.5%)	
								その他 12,110千円 (5.5%)	
								18,099千円 (8.3%)	

これからの水道

水道はすべての皆さんに、清潔にして、豊富低廉な水を送ることを目標としていますが、このためには、①水道のない地域をなくすこと ②新たな水源を開発すること ③水道水の安全性を確保すること、などが必要です。これらの課題を解決するためには、小規模な市町村単位の水道を、十分な財政基盤と技術力をもった大規模な広域水道に再編統合していくことが必要、かつ、有力な方法ですから、水道の広域化が、これから水道事業のめざすものといえます。

人口21,389人のうち、34.1%が小規模水道および井戸、その他となっており、管理のコストや人材の確保等の問題があるため、これらを整理統合して、水道の広域化を促進する必要があります。

水道普及率





快走 マイペースで 439人が力走

第14回開町記念全町マラソン大会

同二年・吉島直人(途小)▽同三年・高橋成史(札南小)▽同四年・富谷寿宏(幕小)▽同五年・前田浩史(札南小)▽同六年・山田一博(相小)▽中学一年・長尾優高(札中)▽同二年・宮嶋勝義(同)▽同三年・植松繁(同)▽高校・菅野秀人(幕高)▽一般C・山本正和(糠内)▽同D・植松武泰(札内若草町)▽同E・小野寺巧一(旭町)▽同G・橋本秀一(緑町)

■女子の部

▽小学一年・渡辺智美(糠小)▽同三年・牧野聡子(途小)▽同三年・長内静香(札内小)▽同四年・小野寺友子(幕小)▽同五年・大野弘美(途小)▽同六年・石田繁代(同)▽中学一年・高山千夏(幕中)▽同二

幕別卓球少年団A

全十勝ホープス卓球大会



町農業者トレーニングセンターの新築を記念した、全十勝ホープス卓球大会が十月十日、同センターで開かれました。この大会は小学生以下を対象で、男子十九、女子十三チームが参加して、団体戦が展開されました。試合は地元の幕別卓球少年団Aチームが、男女とも見事に優勝を果たしました。

▽男子決勝

幕別A 3-0 帯広花園A

▽女子決勝

幕別A 3-0 帯広花園A

位のみ掲載)

第十四回開町記念全町マラソン大会が、十月十日、町宮陸上競技場において行われました。この大会には、小学生から壮年までの四百三十九人が参加し、健脚を競いました。

大会成績は次のとおりです。(一位のみ掲載)

年・植松由貴(札中)▽同三年・高橋佳江(同)▽一般H・松田綾子(札内若草町)



ゴールめざしていっしょうけんめい走る小学生

札内中が全十勝制覇

女子駅伝と野球新人戦

第一回全十勝女子駅伝大会が九月二十五日、雨の降る中、帯広の森陸上競技場を発着点に、12キロメートル、4区で行われました。初めて開かれたこの大会には、中学十二、高校五の計十七チームが参加。札内中は区間入賞者こそいなかったが、四人がいずれも安定し

見事なフリーの応酬

第19回全町卓球大会



第十九回全町卓球大会が十月二日、札内中学校体育館で行われました。大会成績は次のとおりです。

■団体の部

- ・ 中学男子 ①札内中A ②幕別中A
- ・ 同女子 ①幕別中 ②札内中

■個人の部(一位のみ掲載)

- ・ 小学低学年男子 森本剛好(幕小)
- ・ 同女子 武田智美(幕小)
- ・ 小学高学年男子 駒井健二(白小)
- ・ 同女子 上原ゆかり(幕小)
- ・ 小学男子 小野秀博(札中)
- ・ 同女子 駒井美江(札中)
- ・ 一般男子 A 菅野勇次(本町)
- ・ 同B 鎌

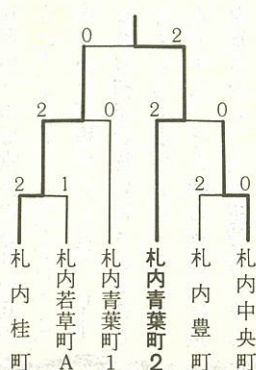
たタイムでトップを維持し、47分49秒のタイムで見事優勝しました。一方、翌日の九月二十六日には、第六回全十勝中学校秋季野球大会の準決勝と決勝の計三試合が、幕別温泉前野球場で行われました。この大会でベスト4入りを果たしていた札内中が、準決勝で帯広四中、決勝は更別中央をそれぞれ一対〇で下し、初の十勝一の座に輝きました。

田幸雄(南町) ・ 壮年男子 山口俊男(旭町) ・ 一般女子 中村友子(帯広)

札内青葉町2が優勝

第4回区対抗バレーボール大会

第四回区対抗バレーボール大会が九月二十五日、札内中学校と札内南小学校の体育館を会場に、九チームが参加して行われました。決勝トーナメントの結果は左表のとおりです。



春日町(男)、桂町(女)がV

町民ソフトボール決勝大会

町民ソフトボール決勝大会が十月十六日、幕別小学校グラウンドで男子七チーム、女子三チームが参加して行われました。

■男子の部

- 準決勝
 - 札内春日町 12-5 札内新北町
 - 旭町第四 11-7 札内桜町
- 決勝
 - 札内春日町 10-2 旭町第四
 - 札内春日町 10-2 旭町第四

■女子の部(決勝)

札内桂町 8-2 札内南あかしや



まちの ニュース



▶アマ音楽家・中里小訪問

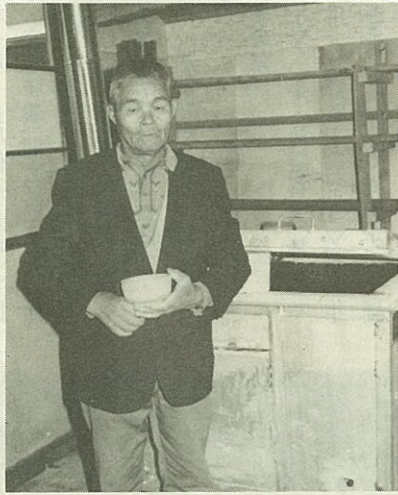
「へき地の子供たちと音楽を通じて触れ合おう」と、深川室内音楽研究会のメンバー十人が、九月二十四日、中里小学校を訪れて移動音楽教室を開きました。近くの駒畠小の児童もいっしょに楽しみました。



▶ひよこり横綱千代の富士！

十月八日、横綱千代の富士が広尾町出身の幕内力士保志とともに、札内特養老人ホーム、老人福祉センターを訪れ、お年寄りたちは大喜びでした。

あなたの周りの のニュースを



▲手づくりの窯小屋完成

「作品を自分の手で焼きたい」と相川の武田豊一さんは、今年七月から、鶏小屋があった場所に廃材を使って窯小屋を完成させました。近く自分の作品を焼くのを楽しみにしています。

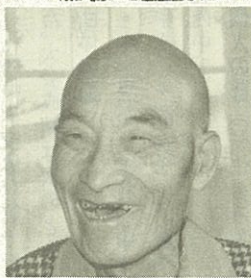
このコーナーにあなたの地域や学校のニュースを登場させてみませんか。取材にうかがいますので、役場の広報広聴係まで連絡ください。



◀いい汗イイ味いい歌
緑町第三公区では、十月十六日みどり保育所グラウンドで、第四回大運動会および野遊会を行いました。むかで競争などで汗を流し、秋味鍋、カラオケで一日を楽しみました。

幕別風土記 四

大正十一年に近衛兵に二年間行つたんですよ。近衛兵とは宮中の守りの兵のことで、葉山御用邸の警備をしました。



札内中央町 458番地
角田 政平さん(81歳)

を開きました。とにかく、兵隊に行くまでの三年間は、苦勞の連続でした。その土地は無償付与になったんですが、兵隊に行っている時に、親父が函館の人に売ったとか、一部を大正村へ売ったとか聞いております。

僕は、明治三十五年一月二十三日、幕別村大字別奴村南四線東三十七番地(札内北町)で生まれました。そして、明治四十三年に札内駅ができたのを機会に別奴村字大通二丁目三番地(札内中央町四五八番地)に移り、現在に至っています。札内市街は、このころから住宅がだんだんと増えていきましたね。

僕は、明治四十一年に白人尋常小学校へ入学しました。冬は、空俵で作ったわら靴を履いたが、雪が入ったり水が浸みて凍ってしまう。まあ、当時の校舎は木造で、節穴や割れ目から雪などが入るなどして寒かったですわ。開墾で苦勞したのは十七歳の時で、大正村(現在は中札内村字上札内)に道庁から払い下げを受けた所有地、二百三十五町歩

僕はそのあと、二度兵隊に行き、特に最後の日華事変の時は、上海の敵前に上陸。良く生きて帰れたものだと思います。

僕が村議(町議)になれたのは、親父の信望が厚かったおかげなんです。昭和十一年に担ぎ出されてから、八年前まで、四十年間も務めさせてもらいました。

あなたの考え待ってます

私の声を町長へ送る旬間

町では町民の皆さんの声を積極的に聞き、それを町行政に反映させるため、今年から「私の声を町長へ送る旬間」を設定しました。

広報に折り込んであるハガキに、日ごろあなたが思っていること、町政へのアイデア、将来への希望、意見などを気軽に書いてポストへお入れください。

▽住所、氏名はハッキリと書いてください

▽ハガキは十一月十七日まで(当日消印有効)にお出しく下さい

なお、寄せられたハガキは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して回答書を作り、町長の意見を添えて本人へ直接回答いたします。

あなたの声が
明日の幕別をつくりまします…。



お宅の戸締まりだいじょうぶですか？

町防犯協会では、全国防犯運動(十月十一日～二十日)の期間中、公区 緑町3、旭町4、札内あかしや南

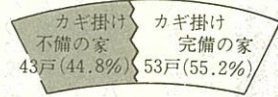
要注意!! カギの掛け忘れ 防犯診断の結果から…

2) および警察の協力を得て、防犯診断を実施しました。実施の結果はグラフのとおりで、特に不在住宅では、台所、トイレ等の窓のカギの掛け忘れが多く見受けられまし

防犯診断結果

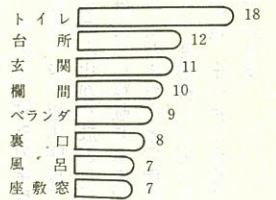
調査戸数 165戸のうち、不在住宅戸数が96戸ありました。不在住宅戸数のうち、カギの掛け忘れの家が半数近い、43戸もありました。

●不在宅のカギ掛けの状況



不完備の内訳

カギ掛け不完備の家43戸のうち、不完備箇所は82カ所あり、その内訳は下のグラフのとおり。



た。外出時には、もう一度「カギ」の点検確認を励行しましょう。

「寄付ありがとうございます」

■町へ…

▽札内商工青年会から社会福祉のために役立ててくださいと八万八千九百十五円

■町社会福祉協議会へ…

▽三共教育映画社から福祉に役立ててくださいと五千円

▽福島良吉さん(南勢)から父が生前お世話になりましたと二十万円

■老人クラブへ…

▽橋本喜作さん(依田)から札内寿会へ三万円

▽福島良吉さん(南勢)から榊内老人クラブへ五万円

★表紙の説明

鳥海正行君は、「便利な取付鏡」を作りました。壁に取り付けてあっても、鏡が上下左右に移動し、親子も利用でき便利です。

小笠原史幸君の「一升びん用取手」は、重さに合った握力が加わり、すべる心配がなく、買物の時など役立ちます。

▽難波春雄さん(弘和)から駒島老人クラブへ十万円

幕中へドラムセット寄贈

〜新田ベニヤ工業(株)から〜



新田ベニヤ工業(株)(新町)から幕別中学校へ、ドラムセット一式の寄贈がありました。このドラムセットは、昨年の十勝博の物産展に出品されたもの。同校では、「ちょうどドラムセットを購入しようと考えていたところなので、ほんとうに良かった、有効に使わせてもらいます」と話していました。

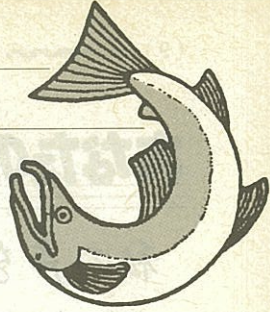
三月に札幌市から来ました。その以前には、大学卒業後、大規模な建設関係の仕事に携わりながら、二十の都道府県を歩いてきました。その間、数えきれないほどの町を見てきましたが、幕別は住宅事情が良く、近くに温泉もあり、快適な町です。

しかしながら、幕別の将来を考えると、幕別本町と札内地域の両極化の町づくりでは、何をやるにも二つずつ造っていかねばならず、町財政が圧迫されたり、いろいろな問題があるように思われます。そこで、両地域を高速町道で結び、そのどまん中に工業団地とコミュニティーセンターを造り、沿道は町並みが連なっており、両地域が合体するような都市計画ができないものではないでしょうか。そうすれば二つのものが一つで済み、立派なものが造れると思うのですが…。



高畑 茂 さん
札内新北町 197番地

新町民登場



幕別町ふるさと館

089-05 幕別町字依田384-3 ☎ (0155) 56-3117

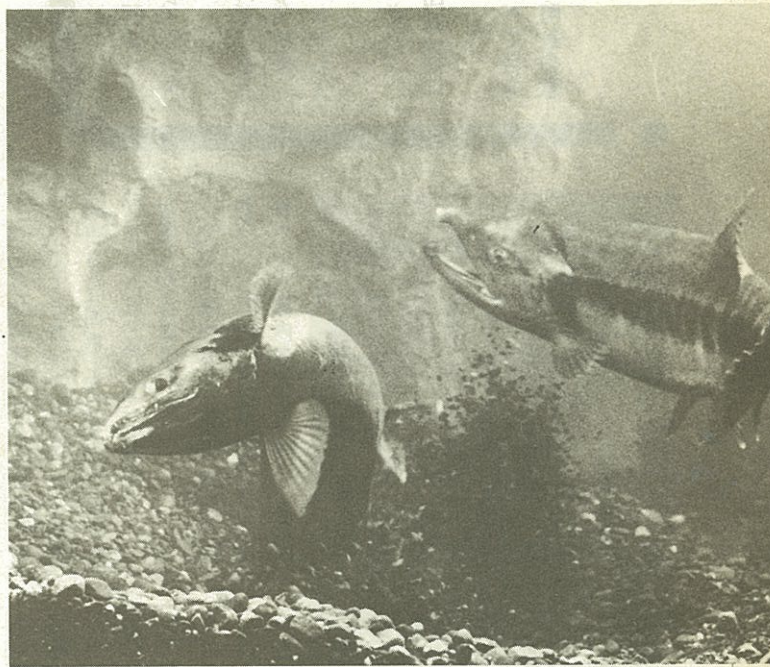
AM9:30→PM6:00 毎週火曜日休館

サーモン通信③③

産まれた!

大樹町浜大樹の沖合で捕獲されたサケ11匹(オス3匹・メス8匹)が、ふるさと館のジャンボ水槽に入ってから一ヶ月が過ぎました。

今では、ふるさと館の水にも慣れた様子で十月十八日ころからは産卵行動が始まりました。早いサケは、十月十九日未明に産卵があったようです。早速、オールナイト観察会を十月二十一日から三日間行うこととし各関係に連絡するとともに、ふるさと館でもカメラ四台、ビデオ一台を用意しビデオからは、事務所までケーブルを利用しモニターできるようにしました。ところが(十月二十四日現在)軽く穴を掘るだけで、産卵する様子が見受けられませんが、無事に産卵が行なわれれば今年も二万粒以上の卵が水槽に産みつけられることと思えます。産みつけられた卵は、十二月初旬に次々と誕生します。新しい生命の誕生シーンを、ふるさと館のジャンボ水槽でご覧になっただけではいかがでしょうか。カメラ、ビデオ撮影もできますので、ぜひお出かけください。

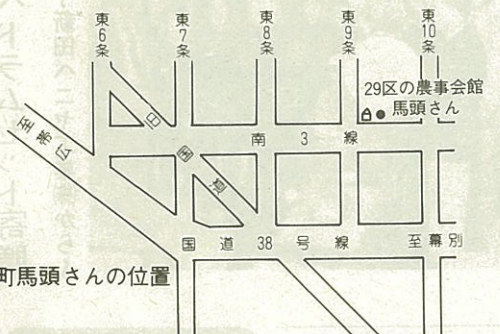


サケの学校飼育は、昨年幕別小学校を始め十校にもなりました。中里小学校では、ふ化した稚魚が、淡水で五十八年八月まで生きていました。

「八月の異常高温にならなければもっと長く生きたかもしれない」
「来年は、水温管理を上手にしてください。」
と先生も生徒もがっかりしておりました。
「来年は、水温管理を上手にして長生きをさせる」と、意気込んでもいました。
ふ化から放流までの飼育に成功した子供(小さなサケ博士)たちの目は、自然界の不思議さに感動するとともに、生きものに対するやさしさにあふれていました。そうした、小さなサケ博士が一人でも多く育ってほしいのです。
今年、町外の学校(帯広一校、札幌一校、旭川四校)からも、サケのふ化から放流までの飼育を子供たちに経験させたいので譲っていただきたいとの申込がありました。各学校に、卵をお渡しできるのは、十一月二十日ころを予定しています。

子供ずもう

札内東町にある農事会館横に、札内の馬頭さんと呼ばれる祠がある。これは二十九区の農事組合の人たちが、明治の末から大正の初めころに建てたものだという。建てられてから現在まで、毎年七月十七日(昔は八月十七日)に馬頭祭が行なわれ、馬の供養がなされている。
かつて馬頭祭の日には、子供ずもうが行なわれ、祠の前であった土俵には、大勢の子供らが集まり、縄のようなふんどしをつけ、元気いっぱいすもうをとったと言う。ほろ酔い機嫌の大人たちは、拍手がっさいをおくり、祭りは大いに



札内東町馬頭さんの位置



幕別 第43回
ちのたり
路傍の神——
開拓と信仰
札内東町の
馬頭さん

ぎわったことだろう。因にすもう景品は、昔は学用品、終戦後はお金であったと言う。現在、子供ずもうは行なわれていない。
今でも、七月十七日には土地の人は、欠かさずお参りを言う。この馬頭さんには、土地の人々の深い思いが込められている。
(取材 松下倫子)